

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
保育実習指導Ⅰ (保育所)		小原伸子・相良亜希	演習	(施設と合計で) 2	後期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	保育士資格必修			
学習目標	保育実習の意義・目的、実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。実習施設における子どもの人権、プライバシーの保護と守秘義務について理解する。実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法について具体的に理解する。実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	保育所実習の意義と目的	保育所での実習の意義と目的の理解			
2	保育所の日常	通常保育、延長保育、一時保育、特定保育の理解			
3	保育所保育士に求められている社会的使命と保育サービス	社会的使命と様々な保育サービスの理解			
4	国家資格としての保育士	保育士の定義と責任についての理解			
5	保育所の保育内容	法における考え方、保育指針における考え方の理解			
6	保育所における養護と教育	養護と教育の概念の理解			
7	保育内容の構造	ねらいと内容と5領域についての理解			
8	保育計画・指導計画	計画を学ぶ意義、実践における保育の内容の理解			
9	保育所の運営	児童福祉施設の種類、保育所の役割の理解			
10	実習に必要な手続き	実習の手続きの流れ、必要な書類について			
11	充実した実習のための学習	部分実習、責任実習、実習日誌の書き方の理解			
12	保育所実習の実際	実習の際のマナー、時間厳守、遅刻、挨拶			
13	実習中に会いやすい困りごと	体調管理、人間関係、子どもとの関係、保護者対応			
14	子どもとのかかわり	観察のポイント、年齢による発達、興味関心			
15	実習の振り返り	実習の整理、日誌の活用、反省会			
参 考 書	山岸美智子編「保育所実習」ななみ書房 2007				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	参考書をよく読んでおくこと。ノートを作ること。				
評価の方法と時期	出席状況、授業への参加度などを総合して評価する。実習可否試験を実施する。60点に満たない者については、実習不可とする。				